



平成25年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年4月26日

上場会社名 株式会社 タムロン 上場取引所 東
 コード番号 7740 URL http://www.tamron.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小野 守男
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営企画室長 (氏名) 土屋 次男 TEL 048 (684) 9111
 四半期報告書提出予定日 平成25年5月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

百万円未満切捨て

1. 平成25年12月期第1四半期の連結業績（平成25年1月1日～平成25年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年12月期第1四半期	13,216	7.6	800	△3.7	759	△7.0	521	△7.5
24年12月期第1四半期	12,280	0.0	830	△7.4	816	△14.2	563	△20.4

(注) 包括利益 25年12月期第1四半期 1,765百万円 (9.8%) 24年12月期第1四半期 1,607百万円 (37.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年12月期第1四半期	19.00	—
24年12月期第1四半期	20.54	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年12月期第1四半期	58,859	41,747	70.9
24年12月期	58,058	40,805	70.3

(参考) 自己資本 25年12月期第1四半期 41,747百万円 24年12月期 40,805百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年12月期	—	20.00	—	30.00	50.00
25年12月期	—	—	—	—	—
25年12月期(予想)	—	20.00	—	30.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年12月期の連結業績予想（平成25年1月1日～平成25年12月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	32,500	6.8	2,500	△13.2	2,400	△15.4	1,600	△23.0	58.29
通期	73,000	13.4	6,300	14.5	6,100	13.4	4,000	2.7	145.72

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年12月期1Q	27,500,000株	24年12月期	27,500,000株
② 期末自己株式数	25年12月期1Q	49,307株	24年12月期	49,307株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年12月期1Q	27,450,693株	24年12月期1Q	27,450,713株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビューの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化により、予想数値と異なる場合があります。なお、業績予想に関する事項については、【添付資料】P. 2「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(5) セグメント情報等	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間(平成25年1月1日～平成25年3月31日)における世界経済を概観しますと、米国経済は、住宅市場の改善が景気を下支えしましたが、混迷が続く財政問題の影響もあり、雇用情勢に不安が残る結果となりました。欧州経済は、イタリアやキプロスの債務問題の再燃等による景況感の悪化が続き、中国経済は、インフラ投資は堅調に推移しているものの企業の生産活動や個人消費の鈍さが目立ち、実質GDP成長率が前年同期比で8%増を下回る等、景気回復に足踏み感が出てきました。

一方わが国経済は、日銀による新たな金融緩和策を期待して、円安や株高が進行する等、マインドの改善が見られました。

当社グループ関連市場であるデジタルカメラ市場は、レンズ一体型タイプの出荷台数は前年同期に比べ約5割減となり、レンズ交換式タイプも前年同期に比べ約2割減、交換レンズ市場でも前年同期に比べ約1割減となり厳しい状況となりました。

このような状況の下、当社グループの当第1四半期連結累計期間における経営成績は、為替相場がドル、ユーロとも前年同期比円安となったこともありましたが、市場環境が厳しい中、写真関連事業が前年同期を上回る売上を確保したこと等により、売上高は132億16百万円(前年同期比7.6%増)となりました。一方、利益面につきましては、営業利益8億円(前年同期比3.7%減)、経常利益7億59百万円(前年同期比7.0%減)、四半期純利益5億21百万円(前年同期比7.5%減)と前年同期と同水準にとどまりました。セグメントの業績は次のとおりであります。

(写真関連事業)

写真関連事業は、OEMの売上は、タイの洪水被害の影響を受けた前年同期を上回りましたが、市場の調整局面が続く中、自社ブランド交換レンズの販売が伸び悩み、販促のための営業費用も増加となりました。

このような結果、写真関連事業の売上高は88億90百万円(前年同期比7.0%増)となり、営業利益は6億12百万円(前年同期比21.2%減)となりました。

(レンズ関連事業)

レンズ関連事業は、コンパクトデジタルカメラや、デジタルビデオカメラ市場は大幅な縮小が続いておりますが、売上高は前年同期比で微減にとどめ、利益は開発費の回収等もあり大幅増となりました。

このような結果、レンズ関連事業の売上高は18億83百万円(前年同期比1.7%減)、営業利益は3億79百万円(前年同期比118.5%増)となりました。

(特機関連事業)

特機関連事業は監視カメラの高画質化ニーズが高まるなか、一体型監視カメラ市場の拡大によりビルトインレンズ(一体型カメラ用レンズ)の販売が引き続き好調に推移いたしました。プロダクトミックスの影響で減益となりました。

このような結果、特機関連事業の売上高は24億41百万円(前年同期比18.8%増)、営業利益は3億61百万円(前年同期比11.0%減)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の総資産は588億59百万円となり、前連結会計年度末に比べ8億円増加いたしました。うち、流動資産が9億25百万円減少し、392億86百万円となりました。これは主に、製品が9億50百万円、仕掛品が9億61百万円それぞれ増加した一方、受取手形及び売掛金が35億84百万円減少したことによるものであります。固定資産は17億26百万円増加し195億73百万円となりました。これは主に有形固定資産が16億51百万円増加したことによるものであります。

また負債は171億12百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億40百万円減少いたしました。うち、流動負債が11億47百万円減少し、131億15百万円となりました。これは主に、買掛金が16億47百万円減少したことによるものであります。固定負債は、10億6百万円増加し、39億96百万円となりました。これは主に、長期借入金が増加したことによるものであります。

純資産は、主に為替換算調整勘定の残高が2億87百万円となったことにより、前連結会計年度末に比べ9億41百万円増加し、417億47百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

第2四半期以降の国内外の景気動向につきましては、わが国経済は、日銀による新たな金融緩和策の導入を受けた円安・株高の進行等に下支えされて、景気は回復基調で推移するものと思われませんが、当社グループ主力の写真関連事業の主要販売地域である欧州でのソブリン危機、米国の債務問題等のリスク要因が懸念される状況です。当社グループの第1四半期連結業績は、利益面では計画を上回りましたが、このような経済状況を勘案し、平成25年2月5日に発表した第2四半期累計期間及び通期業績の予想を据え置くことといたします。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

一部の海外連結子会社において、税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計上の見積りの変更と区分することが困難な会計方針の変更

当社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成25年1月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、この変更による連結財務諸表への影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,822	11,600
受取手形及び売掛金	15,509	11,925
製品	8,144	9,095
仕掛品	2,842	3,803
原材料及び貯蔵品	1,376	1,146
繰延税金資産	668	696
その他	899	1,073
貸倒引当金	△52	△55
流動資産合計	40,211	39,286
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	8,505	8,717
減価償却累計額	△5,053	△5,206
建物及び構築物(純額)	3,452	3,510
機械装置及び運搬具	15,808	16,608
減価償却累計額	△9,813	△10,421
機械装置及び運搬具(純額)	5,994	6,187
工具、器具及び備品	16,253	16,820
減価償却累計額	△13,846	△14,353
工具、器具及び備品(純額)	2,407	2,467
その他	2,558	3,900
有形固定資産合計	14,413	16,065
無形固定資産		
721		718
投資その他の資産		
投資有価証券	1,649	1,785
繰延税金資産	529	501
その他	626	602
貸倒引当金	△93	△98
投資その他の資産合計	2,712	2,789
固定資産合計	17,846	19,573
資産合計	58,058	58,859

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	5,410	3,762
短期借入金	3,928	5,254
未払法人税等	699	478
その他	4,223	3,619
流動負債合計	14,262	13,115
固定負債		
長期借入金	1,547	2,486
退職給付引当金	1,154	1,220
その他	288	290
固定負債合計	2,990	3,996
負債合計	17,252	17,112
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,923	6,923
資本剰余金	7,432	7,432
利益剰余金	27,310	27,008
自己株式	△81	△81
株主資本合計	41,584	41,282
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	94	177
為替換算調整勘定	△873	287
その他の包括利益累計額合計	△778	464
純資産合計	40,805	41,747
負債純資産合計	58,058	58,859

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年3月31日)
売上高	12,280	13,216
売上原価	8,288	8,991
売上総利益	3,991	4,225
販売費及び一般管理費	3,161	3,425
営業利益	830	800
営業外収益		
受取利息	6	3
受取賃貸料	4	6
その他	17	13
営業外収益合計	29	23
営業外費用		
支払利息	36	18
為替差損	0	39
その他	5	6
営業外費用合計	42	64
経常利益	816	759
税金等調整前四半期純利益	816	759
法人税等	253	237
少数株主損益調整前四半期純利益	563	521
四半期純利益	563	521

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	563	521
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	140	82
為替換算調整勘定	903	1,161
その他の包括利益合計	1,044	1,243
四半期包括利益	1,607	1,765
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,607	1,765

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第1四半期連結累計期間(自平成24年1月1日至平成24年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 2	合計
	写真関連事業	レンズ関連 事業	特機関連事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	8,308	1,916	2,055	12,280	—	12,280
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	8,308	1,916	2,055	12,280	—	12,280
セグメント利益	777	173	405	1,356	△525	830

(注) 1. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. セグメント利益の調整額△525百万円は、当社の総務、経理等の本社部門に係わる配賦不能営業費用等であります。

当第1四半期連結累計期間(自平成25年1月1日至平成25年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 2	合計
	写真関連事業	レンズ関連 事業	特機関連事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	8,890	1,883	2,441	13,216	—	13,216
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	8,890	1,883	2,441	13,216	—	13,216
セグメント利益	612	379	361	1,352	△552	800

(注) 1. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. セグメント利益の調整額△552百万円は、当社の総務、経理等の本社部門に係わる配賦不能営業費用等であります。